

令和5年度 鶴見総合高等学校 不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

| 課 題 | 目 標 | 実施結果と目標の達成状況 |
|---|---|---|
| 法令遵守意識の向上（法令の遵守（高い倫理感の保持及びわいせつ事案をはじめとする不祥事の根絶）、服務規律の徹底） | 教育公務員としての自覚を持ち、公務・公務外を問わず県民から信頼される行動をとる。 | ○教職員の状況の的確な把握に向けて、校長等による個別面談を実施した。 ○臨時的任用職員及び経験の浅い職員への声掛けを行い、孤立化の未然防止を図った。 ○不祥事防止職員啓発・点検資料を活用した自己点検（服務規律の遵守）を行い、職員の意識の醸成を図った。 |
| 職場のハラスメント（パワハラ、セクハラ、マタハラ等）の防止 | 職場での各種ハラスメントの発生を未然に防止する。 | ○風通しの良い職場づくりに努めることで、互いを尊重し思いやる環境の構築を図った。 ○不祥事防止職員啓発・点検資料を活用し、各種ハラスメントの認識を再確認した。 |
| 児童・生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止 | わいせつや、セクハラ行為の発生を未然に防止する。 | ○不祥事を自分事として捉えるとともに、生徒とのSNS等の利用禁止や個人情報収集の際の手順を再確認し、不祥事の起きない環境づくりを図った。 |
| 体罰、不適切な指導の防止 | 日常の教育活動において、生徒の人権に十分配慮した指導を行う。 | ○不祥事防止職員啓発・点検資料により自己点検を行った。 ○人権に関する研修を実施して、人権に配慮して生徒指導を行っていくことを再確認した。 |
| 入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止 | 入学者選抜業務、履修指導・登録・成績処理、指導要録等、学務管理上の業務及び調査書等のミスを未然に防止する。 | ○入学者選抜に係るマニュアルを全職員で確認し業務効率の向上を図った。 ○入学者選抜に係る不測事態の対応について入念に確認し、業務に備えた。 ○学務関連のマニュアルを確認するとともに、点検体制を整備して事故防止を図った。 |
| 個人情報等の管理、情報セキュリティ対策 | 個人情報の流出を未然に防止する。 | ○学校行事等における画像データの取扱いについて再確認し、適切に運用した。 ○不祥事防止職員啓発・点検資料を活用し個人情報の取扱いに対する意識の向上を図った。 |
| 交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守 | 教育公務員として、交通法規を遵守し、県民から信頼される行動をとる。 | ○不祥事防止職員啓発・点検資料を活用し、自己点検を行った。 ○事案発生に伴う、本人、職場、家族に及ぼす影響について考え、自身の行動を振り返った。 |
| 会計事務等の適正執行の確保 | 私費会計事務処理の周知を図り、適正な執行を行う。 | ○年度初めに私費会計事務処理について全職員で確認し、適正な執行に努めた。 ○OPTA監査や財務事務調査の機会に執行状況の適正化に努めた。 |

○ 令和5年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和6年度に取り組むべき課題
(学校長意見)

年間を通して計画的に不祥事ゼロプログラムの課題項目に取り組んだ。令和5年度は様々な場面で、業務の進め方を確認し、点検を入念に行うことで確実な業務遂行と職員の意識の向上が図られた。

令和6年度も生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止、職場でのハラスメントの防止、財務事務等の適正執行、個人情報等の管理を引き続き重点課題として取り組む。

情報提供や相互の声掛けを行うなどして、風通しの良い職場づくりに努め、職員の事故防止の啓発を行い、事故・不祥事の未然防止を図る。